



## 【新設】晩秋のブラームス ブラームス没後120年

講師名	<p>桐朋学園大学教授 西原 稔 ピアニスト 菅野 雅紀 ヴァイオリニスト 寺内 詩織</p>
講座内容	<p>ブラームス没後120年を記念したレクチャー&amp;コンサートの第2弾です。今回は中期から後期にかけての作品を取り上げ、世紀末に向かう時代のウィーンに生きたブラームスの世界を深く味わいたいと思います。</p> <p>彼の創作の大きな転換期は、久々に作曲したピアノ作品「8つの小品」(作品76)です。1878年に完成したこの作品には、1890年代の後期の作品のペシミズムが感じられます。講座ではこの作品に加えて、「ヴァイオリン・ソナタ第2番」、後期の「3つの間奏曲」を取り上げます。(西原講師・記)</p> <p>&lt;演奏予定曲目&gt; 変更することがございます。予めご了承ください。</p> <p>ブラームス</p> <p>「8つの小品」(作品76)より 「ヴァイオリン・ソナタ第2番」(作品100) 「3つの間奏曲」(作品117) ほか</p>
日時・期間	日曜 13:00-14:30 11/26 1回
日程	2017年 11/26
受講料(税込み)	<p>11月(1回)</p> <p>会員 3,672円 一般 4,320円</p>



教材費	-
注意事項	
	<div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 10px; border-radius: 5px; display: inline-block;">お申し込み</div>
講師紹介	<p><b>西原 稔 (ニシハラ ミノル)</b></p> <p>山形県生まれ。東京藝術大学大学院博士過程満期退学。現在、桐朋学園大学音楽学部教授。18、19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。「音楽家の社会史」、「聖なるイメージの音楽」（以上、音楽之友社）、「ピアノの誕生」（講談社）、「楽聖ベートーヴェンの誕生」（平凡社）などの著書のほかに、共著・共編で「ベートーヴェン事典」（東京書籍）、監訳・共訳で「オペラ事典」、「ベートーヴェン事典」（平凡社）などがある。現在、シューマンとブラームスに関する著作に取り組んでいる。</p> <p><b>菅野 雅紀 (スガノ マサノリ)</b></p> <p>東京藝術大学、同大学院修士課程を経て、同大学院博士後期課程を修了。ロームMF奨学生としてリスト音楽院に留学。ポルト市国際コンクール、ルドミラ国際コンクールほか国内外の多くのコンクールで優勝、入賞。ブラームスピアノソロ全曲演奏の後、2016年よりシューマン&amp;メンデルスゾーン全曲シリーズに取り組んでいる。東京芸術大学ピアノ科非常勤講師を経て、聖徳大学音楽学部准教授。ほか、武蔵野音楽大学でも講師として後進の指導にあたっている。</p> <p><b>寺内 詩織 (テラウチ シオリ)</b></p> <p>全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクール、東京音楽コンクール、ヴィエニアフスキ&amp;リピンスキ、レオポルト・モーツァルト、フリッツ・クライスラー、シュポア、ボリス・ゴールドシュタイン等、数々の国内外のコンクールにて入賞。オリジナル楽器オーケストラ「バッハ・コレギウム・ジャパン」のメンバー。シャネル主催「ピグマリオン・デイズ」のアーティスト。徳島県より「とくしま芸術文化奨励賞」を最年少で受賞。これまでに、ヴァイオリンを故工藤千博、辰巳明子、ザハール・ブロンの各氏に、バロックヴァイオリンを戸田薫、寺神戸亮の各氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学、桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを卒業。現在ソフィア王妃高等音楽院、桐朋学園大学大学院修士課程に在学中。</p>